

自公連立解体論

白川勝彦 元・衆議院議員、自治大臣

自公問題の本質 瓦解する自民党
日本の政治をゆがめた
自公連立徹底批判

きしむ自公合体政権

矢野・元公明党委員長の驚くべき証言

「暗殺計画」は本当にあったのか

10月上旬
発売

発行

花伝社

〒101-0065
東京都千代田区西神田2-7-6 川合ビル
電話:03-3263-3813 FAX:03-3239-8272
E-mail:kadensha@muf.biglobe.ne.jp
http://kadensha.net

四六判並製 定価(本体1500円+税) ISBN978-4-7634-0529-6 C0031 ¥1500E

自由主義が衰退すれば、日本は滅ぶ——
政治の実態は、10年前から私が体を張って
警告したとおりになっている!

政治の世界では、風向きが変わるまでじっと待っていることは敗北主義である。難攻不落の城であっても、必ず弱点がある。果敢に戦いを挑まない限り展望は開けない。私は一人の政治家として戦いをやめることはできなかった。多くのかつての友が戦線から離脱していった。節を曲げた者もいる。私が旗を降ろせば、政治の世界で誰も自公連立と戦う者がいなくなる。それをいちばん喜ぶのは、自公連立を仕組んだ者であろう。それだけは私の正義感と自尊心が許さない。この著述は、戦いの証明であり記念碑でもある。

目次

はじめに——いま、なぜ自公問題なのか

序章 自民党政治は終焉するか

1章 公明党、創価学会との10年戦争——何を戦ってきたのか

2章 諸悪の根源としての公明党

自公合体政権に痛撃を／歴史的敗北が歴史を動かす／偉そうなことをいうな!
／前代未聞の選挙のための連立／大連立構想の真の原因／自公合体政権はすでに裸の王様／伝家の宝刀が仇となる／諸悪の根源としての公明党／特別なねじれを一刻も早く解消せよ／政教分離の黑白をつける矢野也氏の証人喚問

3章 創価学会党化した自民党

はじめに／排他独善、高じて批判者を抹殺する自民党／反自由的で非民主的となった自民党／許術的・謀略的手段を平気で用いる自民党／理想や理念を求めようとしない俗物的体質／庇を借りて母屋を乗っ取るパラサイトの体質

4章 自公合体政権批判

保守の信義に悖る公明党との連立／野合ではなかった自社さ三党の連立政権／政権党でいたいという浅ましい醜悪な連立

5章 政教分離問題原論

白川勝彦(しらかわ かつひこ)

1945年新潟県十日町生まれ。1968年東京大学法学部卒。1971年司法修習を終え、弁護士に。1975年30歳で衆議院選挙に立候補を決意、郷里の新潟4区(当時、現在の新潟6区)で政治活動を始め、1979年34歳で初当選(以後、当選6回)。国土政務次官、郵政政務次官、商工委員長などを務めた後、1996年11月自治大臣・国家公安委員長に就任。自民党では、総務局長・団体総局長・新潟県連会長などを務める。

2001年2月自民党を離党。公明党の政権参加を批判する新党・自由と希望を設立。現在、弁護士。
著書に『自公を批判する』(花伝社)、『いまりべラルか問う』(イブシロン出版企画)など。日々更新される「永田町徒然草」が読める著者のサイトは、毎日1万アクセスを誇る。URLは、<http://www.liberal-shirakawa.net/index.html>

注文カード

書店名

部数

部

販売条件

新刊委託

著者

書名

発行

白川勝彦

ISBN4-978-4-7634-0529-6 C0031 Y1500

自公連立解体論

花伝社

発売

共栄書房

本体(1500円+税)

注文日 年 月 日